

平成27年度 行政評価 施策カルテ

施策名	3 都市と農村の交流促進
-----	--------------

施策主管課	観光交流課	総合計画記載頁	145ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	20 魅力ある観光と交流を創出する	政策の達成目標 (基本施策目標)	新たな資源が発掘、活用され本市の観光資源の価値がさらに高まり、市民も自らの地域に誇りを持つことで、多くの人に宇都宮を訪れ楽しんでもらえるような、魅力ある観光と交流が創出されています。
------	----------------------------------	----------------	-------------------	---------------------	---

2 施策の取組状況

施策目標	地域住民がコミュニティに参画し、都市住民との交流も活発に行われ、活力ある地域社会が形成されています。
------	--

① 施策指標	指標名(単位)								H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)								H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	都市農村交流参加者数		単年度目標値	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000									1,400,000	1,400,000	施策の満足度(%)		調査結果	23.5%	22.6%	20.2%							
指標1	現状値	1,338,569人	実績値	1,453,692	1,633,671	1,718,300										A	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)	B								B					
	目標値(H29)	1,400,000人	単年度の達成度	103.84%	116.69%	122.74%																									
指標2	現状値		実績値													【参考】中核市等との水準比較	④ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)	B								B					
	目標値(H29)		単年度の達成度																												
	現状値		実績値																												
	目標値(H29)		単年度の達成度																												
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの) $\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$ ★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの) $\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$ </div> <div style="flex: 1;"> </div> <div style="flex: 1;"> <p>※ 評価の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 施策指標 <ul style="list-style-type: none"> A: 達成度90%超 [33点] B: 達成度70%~90% [25点] C: 達成度70%未満 [15点] ② 市民意識調査結果(満足度) <ul style="list-style-type: none"> A: 前年度より向上 (+1.5pt超) [33点] B: 前年度同水準 (±0.5pt以内) [25点] C: 前年度より低下 (-1.5pt超) [15点] ③ 主要な構成事業の進捗状況 <ul style="list-style-type: none"> A: 計画以上(主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点] B: 計画どおり(主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点] C: 計画より遅れ(主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点] <p>総合評価 順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上] 概ね順調:(主にB評価が2つ以上[65点以上90点未満]) やや遅れている:(C評価が2つ以上[65点未満])</p> </div> </div>																															
取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況																															

施策を取り巻く環境等	平成24年に策定された観光立国推進基本計画においては、国内外の多様なニーズに応えるため地域の特性や資源を活用したニューツーリズムの推進、受入体制の強化が必要とされており、国内外からの観光旅行者を「おもてなしの心」をもって迎えるよう努めることが推進されている。 栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査によると、県への観光客入込数は平成23年に震災の影響で大きく減少したが回復傾向にあり、平成26年は約8711万人と過去最多を更新した。	市民満足度	市民の施策の満足度においては、対前年比2.4%減少していることから、目標達成に向けて、今後も都市と農村の交流推進のため、中核となる交流施設を活用し、各種事業やイベント内容の周知活動を強化するとともに、サービスを充実させ、市民の満足度の向上を図っていく。	総合評価	83点
施策指標	平成26年度も参加者数の目標を達成した。これは各施設において内容を充実させたイベントの開催や来場者に対する心のもてなしを実施し、満足度向上、誘客促進を図ったことによるものである。 なお、農林公園ろまんちっく村は、道の駅としてリニューアルオープンして以降、来園者が増加し、指定管理者が実施する地域と連携した各種イベントの開催に伴う誘客効果もあり、平成26年度は対前年比107%の137万人が来園した。			概ね順調	83点

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業が属する総合計画の 構成事業名	事業内容		事業の 進捗状況	H26 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	農業・農村ふれあい交流事業	○★	農業・農村ふれあい交流事業の推進	市民を含む都市住民及びふれあい交流事業を実施する団体	農作業体験及び農家生活体験に対する支援	計画どおり	208	H17		都市と農村の交流促進や農村地域の活性化を図るため、農作業体験や自然観察会などを実施する農家や地域団体を支援しながら、民間事業者や農業者と連携し、本市の地域資源を活用した着地型観光ツアーを実施し、交流人口の拡大を図る。
2	農林公園整備事業	★	農林業観光交流施設の充実	指定管理者	施設の維持保全、魅力向上に伴う整備等	計画どおり	107,382	H8		来園者数が対前年比107%の137万人を達成した。今後とも、管理運営が適切に実施されるよう、モニタリングを行うとともに、施設の維持修繕工事を計画的に実施していく。指定管理者と連携を強化しながら、来園者に親しまれる公園となるよう魅力向上を図る。また、指定管理者の更新に向けた準備を進めていく。
3	地域交流館整備事業	★	農林業観光交流施設の充実	指定管理者	施設の維持保全等	計画どおり	13,459	H20		来館者数が対前年比102%の25万3千人を達成した。管理運営が適切に実施されるよう、モニタリングを行うとともに、施設の維持修繕工事を計画的に実施していく。また、指定管理者と連携を強化しながら、利用者に安らぎを与える施設となるよう、施設の魅力向上を図る。
4	食農体験学習事業		農業・農村ふれあい交流事業の推進	各市立小・中学校の食育体験事業を実施する団体	農作業体験及び自ら収穫した農作物の食味体験	計画どおり	5,254	H12		児童及び生徒が、農業及び食への理解関心を深めるため、市内全小・中学校で事業が実施しやすいようサポートするなど十分な連絡・協力しながら事業を支援していく。
5	農林業祭開催事業	★	農林業イベントの充実	宇都宮市農林業祭開催委員会	農林業祭(イベント)の開催	計画どおり	2,850	S37		本市の農林業振興や農畜産物の地産地消を推進し、更なる誘客促進を図るため、開催を支援するとともに、関係機関と連携し、イベント内容の充実や効果的なPR方法について検討しながら事業を推進していく。
6	宇都宮さつき&花フェア開催事業	★	農林業イベントの充実	宇都宮さつき&花フェア実行委員会	宇都宮さつき&花フェア(イベント)の開催	計画どおり	1,330	H8		「宇都宮さつき&花フェア実行委員会」に補助金を交付することで、市の花「さつき」の理解促進と花き・花木の振興や更なる誘客促進を支援し、第20回を記念した事業や海外へ向けたPR方法を検討しながらフェアを開催する。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆都市と農村の交流を促進するためには、ろまんちっく村などの民間事業者及び農業者と連携しながら、農作業や自然観察などの体験メニューの充実や、地域資源を活用した着地型観光ツアーなど、本市ならではのグリーンツーリズムを展開していく必要がある。</p> <p>◆「ろまんちっく村」や「上河内地域交流館」などの農林業観光交流施設は、さらなる集客の向上を図るために、適正な維持管理を行うとともに、常に魅力的なサービスを提供する必要がある。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆都市と農村の交流促進を図るため、本市の豊かな農産資源を活用した農作業体験や自然体験等の充実、さつき&花フェアなどの交流イベントの展開を図るとともに、ろまんちっく村・上河内地域交流館などの観光交流拠点との連携した、本市ならではのグリーンツーリズムを推進し、魅力的な事業の展開に取り組む。</p> <p>〈主要事業〉 ◆農業・農村ふれあい交流事業については、都市と農村との交流促進や農作業等の体験を通じた本市の豊かな「農」への理解促進を図るため、農業者や民間事業者・地域と連携して、都市住民のニーズに対応した体験メニューの充実や地域資源を活用した着地型体験ツアーの実施など事業内容の充実を図る。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>